

3. 区分特性に応じた地域展開について 両国地域の各エリアの特性

立地、特性、課題、既存の地域組織等から、両国地域は概ね下記の4つのエリアに分けて検証する。

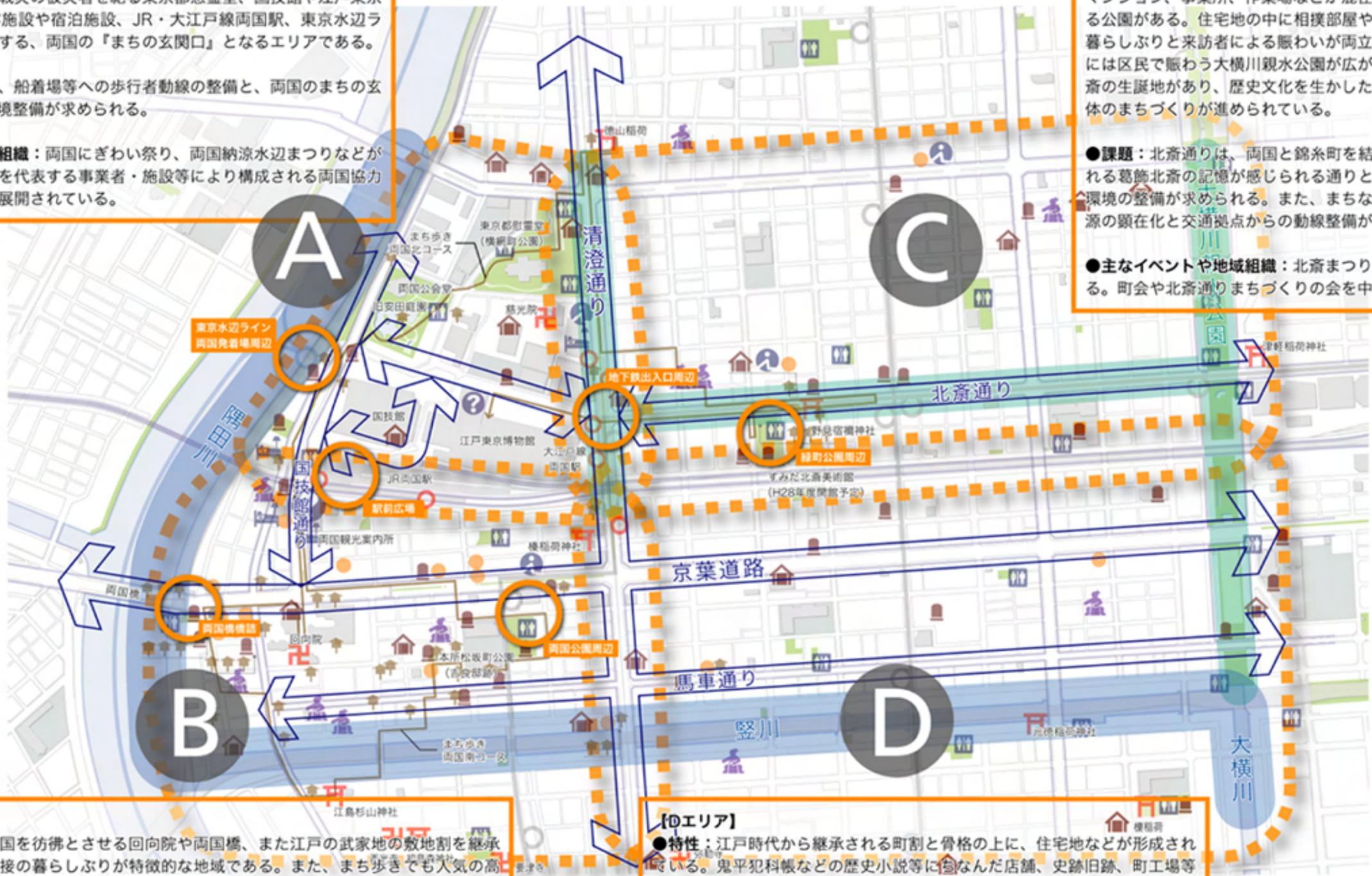
⇒ 賑わい軸 ○ まち歩き拠点 水辺の賑わいゾーン 水辺の記憶ゾーン

【Aエリア】
 ●特性：江戸時代の大きな敷地割形状の上に、江戸の汐入回遊式庭園であった旧安田庭園、震災と戦災の被災者を祀る東京都慰霊堂、国技館や江戸東京博物館等の大規模集客施設や宿泊施設、JR・大江戸線両国駅、東京水辺ライン船着場などが立地する、両国の「まちの玄関口」となるエリアである。
 ●課題：集客施設や駅、船着場等への歩行者動線の整備と、両国のまちの玄関口としての景観・環境整備が求められる。
 ●主なイベントや地域組織：両国にぎわい祭り、両国納涼水辺まつりなどが開催され、町会や地域を代表する事業者・施設等により構成される両国協力を中心に地域活動が展開されている。

【Cエリア】
 ●特性：かつての江戸の堀割（旧南割下水）であった北斎通りを軸に、住宅、マンション、事業所、作業場などが混在し、地域の人々の憩いの場となっている公園がある。住宅地の中に相撲部屋や工房ショップ等地域資源が点在し、暮らしふりと来訪者による賑わいが両立する地域である。また、錦糸町方面には区民で賑わう大横川親水公園が広がっている。北斎通り沿いには葛飾北斎の生誕地があり、歴史文化を生かした街並み修景や地域活性化など地域主体のまちづくりが進められている。
 ●課題：北斎通りは、両国と錦糸町を結ぶ動線として、また、地域に親しまれる葛飾北斎の記憶が感じられる通りとして、賑わいが感じられるまち歩き環境の整備が求められる。また、まちなかの相撲部屋、寺社仏閣等の地域資源の顕在化と交通拠点からの動線整備が求められる。
 ●主なイベントや地域組織：北斎まつり、徳之山まつりなどが開催されている。町会や北斎通りまちづくりの会を中心に地域活動が展開されている。

【Bエリア】
 ●特性：江戸時代の両国を彷彿とさせる回向院や両国橋、また江戸の武家地の敷地割を継承する街の骨格や職住近接の暮らしふりが特徴的な地域である。また、まち歩きでも人気の高い吉良邸跡や江島杉山神社、両国公園、北斎の浮世絵にも描かれた豎川、下町らしい路地、江戸の食文化など、徒歩圏内に多くの地域資源が集積している。
 ●課題：多くの地域資源が点在しており、視覚的、面的な歴史文化の広がりを感じられる地域資源周辺の環境整備が求められる。
 ●主なイベントや地域組織：両国にぎわい祭り、吉良祭・元禄市、義士祭、杉山検校祭などが開催され、町会や代々の氏子組織、両国協会等を中心に地域活動が展開されている。

【Dエリア】
 ●特性：江戸時代から継承される町割と骨格の上に、住宅地などが形成されている。鬼平犯科帳などの歴史小説等に「なんだ店舗、史跡旧跡、町工場等がまちなかに点在している。
 ●課題：両国駅などのまち歩きの拠点や他のエリアからは幹線道路や鉄道で分断され、また、距離もあることから、歩行者動線の形成が難しい。地域資源への誘導、顕在化が求められる。
 ●主なイベントや地域組織：町会や立川菊川まちづくり研究会を中心に地域活動が展開されている。（鬼平焼きそば等）



凡例

河川・水辺（池等）	寺院
公園	神社
トイレ	工房ショップ
区内循環バスルート	小さな博物館
水上バスルート	資料館
まち歩きルート	史跡・名所
駅出入口	歴史案内高札
観光案内施設	相撲部屋
街あるき案内処	老舗飲食店等
宿泊施設	



両国地域各エリアの観光まちづくりの方針

両国地域の既存の取組、観光資源の集積状況、回遊動線などを踏まえ、各エリアの重点事業に取組み、両国地域全体の観光まちづくりを効果的に進める。
また、各エリアの江戸文化観光資源をつなぐことで、両国地域全体の回遊性を高め、活性化を図る。
ここでは、両国地域のエリア特性から、それぞれの地区の観光まちづくりの方向性を整理する。

○ 江戸文化観光資源 → 賑わい軸 ○ まち歩きの手点 ■ 水辺の賑わいゾーン ■ 水辺の記憶ゾーン

江戸のダイナミックな町割を継承した大規模集客施設の集積と粋な江戸文化の発信

粋な江戸文化、両国の心意気、賑わいが感じられるまちの玄関口で来訪者を迎えます。このエリアでは、隅田川などの舟運観光、国技館や江戸東京博物館、旧安田庭園などでゆったりと江戸文化を楽しむことができます。さらに、東京都慰霊堂で改めて震災と戦災に向き合う時間を過ごすなど、両国の特徴的な観光資源を愉しむことができます。大規模な集客施設が集積するこの場所から、江戸から続く文化を発信していきます。

葛飾北斎の生誕地、暮らしと賑わいが両立した、北斎通りを中心としたまちづくり

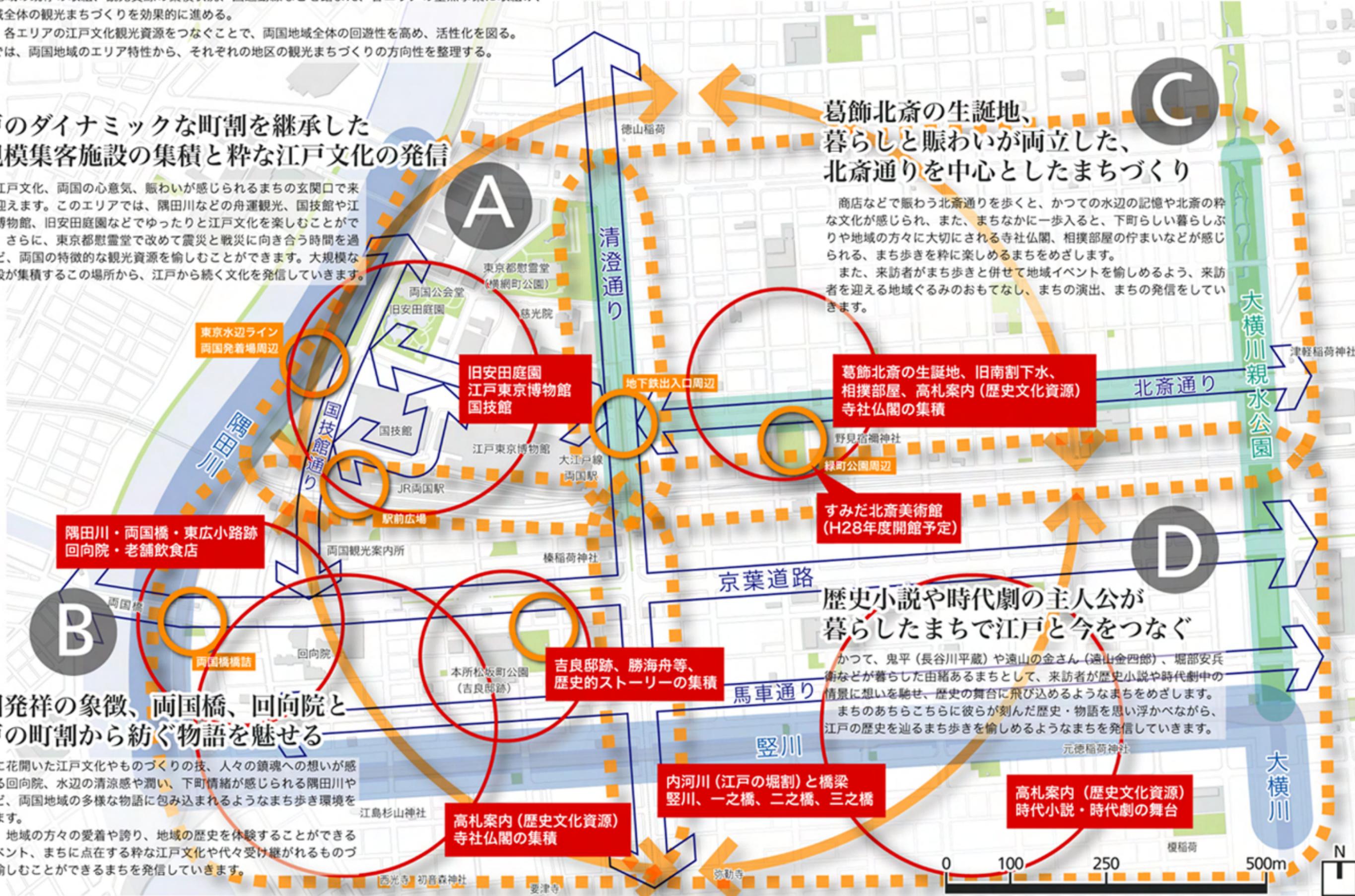
商店などで賑わう北斎通りを歩くと、かつての水辺の記憶や北斎の粋な文化が感じられ、また、まちなかに一步入ると、下町らしい暮らしぶりや地域の方々に大切にされる寺社仏閣、相撲部屋の佇まいなどが感じられる、まち歩きを粋に楽しめるまちをめざします。
また、来訪者がまち歩きと併せて地域イベントを愉しめるよう、来訪者を迎える地域ぐるみのおもてなし、まちの演出、まちの発信をしていきます。

両国発祥の象徴、両国橋、回向院と江戸の町割から紡ぐ物語を魅せる

両国に花開いた江戸文化やものづくりの技、人々の鎮魂への想いが感じられる回向院、水辺の清涼感や潤い、下町情緒が感じられる隅田川や豎川など、両国地域の多様な物語に包み込まれるようなまち歩き環境をめざします。
また、地域の方々の愛着や誇り、地域の歴史を体験することができる地域イベント、まちに点在する粋な江戸文化や代々受け継がれるものづくりを愉しむことができるまちを発信していきます。

歴史小説や時代劇の主人公が暮らしたまちで江戸と今をつなぐ

かつて、鬼平（長谷川平蔵）や遠山の金さん（遠山金四郎）、塙安兵衛などが暮らした由緒あるまちとして、来訪者が歴史小説や時代劇中の情景に想いを馳せ、歴史の舞台に飛び込めるようなまちをめざします。まちのあちこちに彼らが刻んだ歴史・物語を思い浮かべながら、江戸の歴史を辿るまち歩きを愉しめるようなまちを発信していきます。



Aエリア関連整備事業

(1) Aエリアの地域展開におけるまちづくりの方針

江戸のダイナミックな町割を継承した 大規模集客施設の集積と粋な江戸文化の発信



Aエリア位置図

粋な江戸文化、両国の心意気、賑わいが感じられるまちの玄関口で来訪者を迎えます。このエリアでは、隅田川などの舟運観光、国技館や江戸東京博物館、旧安田庭園などでゆったりと江戸文化を楽しむことができます。さらに、東京都慰霊堂で改めて震災と戦災に向き合う時間を過ごすなど、両国の特徴的な観光資源を愉しむことができます。大規模な集客施設が集積するこの場所から、江戸から続く文化を発信していきます。



Aエリアの将来イメージ

(2) Aエリアの軸・拠点・ゾーンの方向性

賑わい軸

国技館通り 駅前広場（まち歩き拠点）、国技館等沿道の大規模集客施設付近を通るまちのメインストリートとして、沿道の商店とともに、江戸の賑わいを彷彿とさせる歩行者環境をめざします。

清澄通り 両国地域の交通拠点と大規模集客施設付近を通る、両国地域の南北軸として、また、周辺のまち歩きの主軸動線として、沿道の街並み誘導を図ります。

まち歩き拠点をつなぐ動線 粋な江戸文化が感じられる、歩行者中心のまち歩き環境をめざします。

まち歩き拠点

駅前広場 粋に来訪者を迎えるおもてなしの玄関口として、また、まち歩きの起点となる環境をめざします。

東京水辺ライン 両国発着場周辺 隅田川テラスとともに、水辺の玄関口としての顕在化と、舟運観光やイベントなどによる賑わいの創出をめざします。

地下鉄出入口周辺 粋に来訪者を迎えるおもてなしの玄関口や、まち歩きの起点となる環境をめざします。

水辺の賑わいゾーン

隅田川 両国のまちの水辺の主軸として、かつての川開きの賑わいを彷彿とさせる水辺の活用と、まちと隅田川とのつながりの向上をめざします。

水辺の記憶ゾーン

清澄通り かつての御竹蔵（現在の江戸東京博物館付近）を取り囲むように流れていた旧堀割として、水辺の記憶が感じられる沿道の街並み修景を図ります。

(3) 整備検討箇所



(4) 計画（案）について

事業展開01 賑わい軸

① 両国のメインストリート、粋な江戸文化が薫る国技館通りの環境整備や街並みの修景

- ・まちのメインストリートにふさわしい環境整備や沿道修景整備を図る。
- ・空間デザインや施設案内などにより、まち歩きの拠点及び周辺の地域資源と連携した、面的な環境整備を図る。
- ・粋な江戸文化が感じられる街並みづくりによって、まち歩きの誘発を図る。

② 沿道の広場や施設と連携した、大規模集客施設周辺の環境づくり

- ・新たな地域資源となるすみだ北斎美術館など大規模集客施設間の回遊性を高める環境整備を図る。
- ・沿道の広場や施設と調和した修景や緑化などにより、ゆったりと歩ける歩行者環境を整備する。

事業展開02 まち歩きの拠点

③ 粋な江戸文化の玄関口で来訪者を迎える、駅前広場周辺の環境づくり

- ・交通起点としての総合的なまち歩き情報を提供、発信する案内サイン等を整備する。
- ・来訪者を迎えるおもてなしの玄関口として、粋な江戸文化を感じさせる設えを整える。

④ 水辺から地域内外の回遊性を高める、両国発着場周辺の環境づくり

- ・水辺の交通起点として、周辺地域の情報案内を充実させ、まち歩きを誘発するしかけをつくる。

事業展開03 水辺の賑わいゾーン・水辺の記憶ゾーン

⑤ 両国川開きの賑わいを再生する、隅田川テラスの環境づくり

- ・隅田川テラスへの誘導情報等の整備により、まちと水辺のアプローチの改善を図る。

今後想定される事業

事業内容	短期	中期	長期
国技館通りの道路環境整備	■		
両国駅周辺の道路環境整備/修景整備	■		
民間の建築物等の修景・開発誘導		■	
旧安田庭園再整備		■	
両国駅周辺の道路環境整備/修景整備		■	
案内サインの整備			■
案内サインの整備			■
案内サインの整備			■

Bエリア関連整備事業

(1) Bエリアの地域展開におけるまちづくりの方針

両国発祥の象徴、両国橋、回向院と江戸の町割から紡ぐ物語を魅せる



Bエリア位置図

両国に花開いた江戸文化やものづくりの技、人々の鎮魂への想いが感じられる回向院、水辺の清涼感や潤い、下町情緒が感じられる隅田川や竪川など、両国地域の多様な物語に包み込まれるようなまち歩き環境をめざします。

また、地域の方々の愛着や誇り、地域の歴史を体験することができる地域イベント、まちに点在する粋な江戸文化や代々受け継がれるものづくりを愉しむことができるまちを発信していきます。



本所松坂町公園周辺の風情

Bエリアの将来イメージ

(2) Bエリアの軸・拠点・ゾーンの方向性

賑わい軸

国技館通り	駅前広場(まち歩き拠点)、国技館等沿道の大規模集客施設付近を通るまちのメインストリートとして、沿道の商店とともに、江戸の賑わいを彷彿とさせる歩行者環境をめざします。
京葉道路	両国橋橋詰(まち歩き拠点)の賑わいの創出と、両国と錦糸町を結ぶ東西軸として、沿道の街並み誘導を図ります。
馬車通り	まち歩きの中心軸として、町工場や問屋と住宅の混在した街並みと、暮らしや生業が見える歩行者環境をめざします。
清澄通り	両国地域の交通拠点と大規模集客施設付近を通る、両国地域の南北軸として、また、周辺のまち歩きの主軸動線として、沿道の街並み修景を図ります。

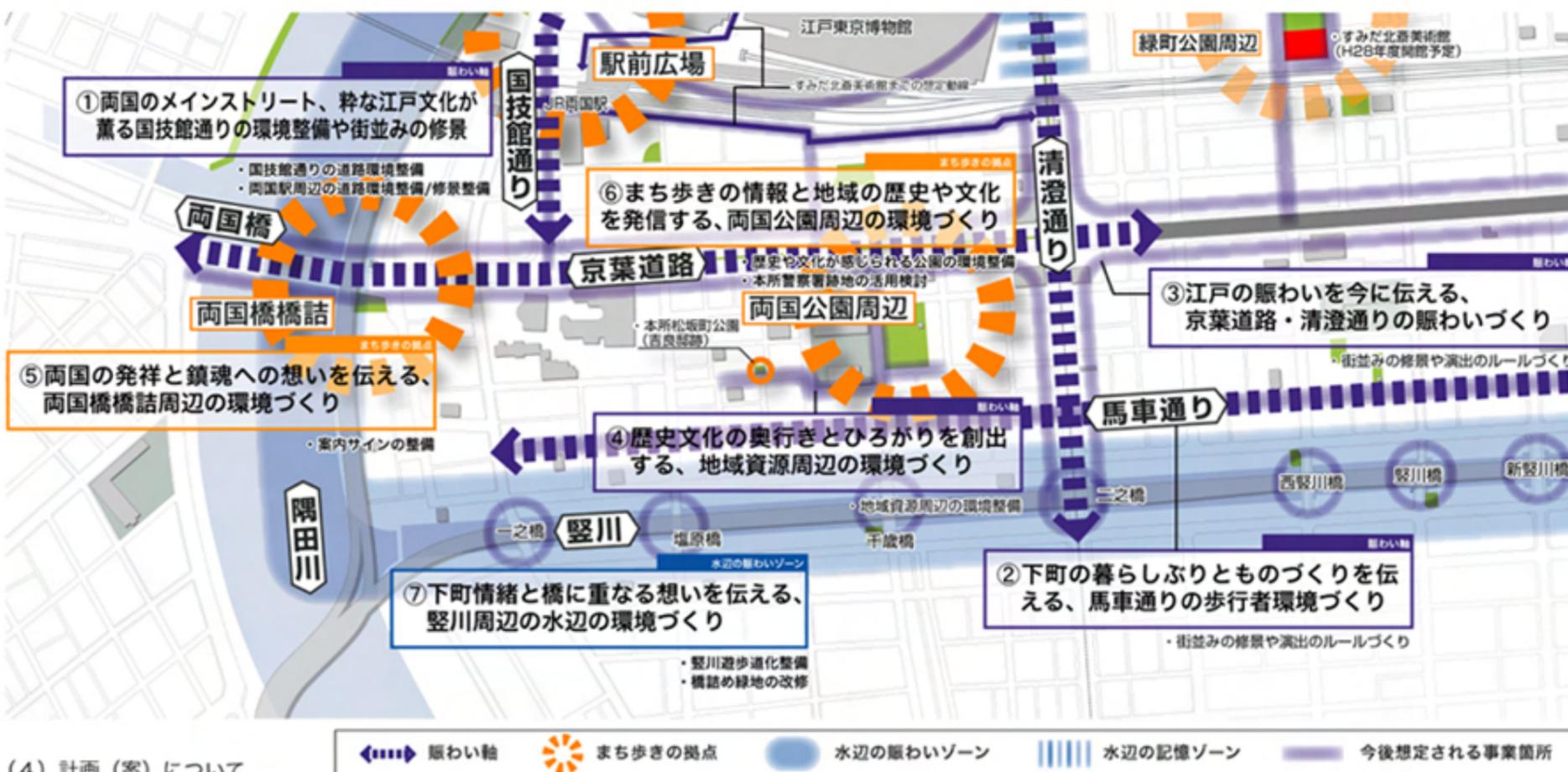
まち歩き拠点

駅前広場	粋に来訪者を迎えるおもてなしの玄関口として、また、まち歩きの起点となる環境をめざします。
両国橋橋詰	両国のまちの発祥と鎮魂への想いを伝える両国橋や回向院周辺にふさわしい設えと、まち歩きの情報発信拠点をめざします。
両国公園周辺	両国公園や周辺の地域資源と合わせた面的な歩行者環境を整えるとともに、まち歩きを誘発する情報発信と交流の拠点をめざします。

水辺の賑わいゾーン

隅田川	両国のまちの水辺の主軸として、かつての川開きの賑わいを彷彿とさせる水辺の活用と、まちと隅田川とのつながりの向上をめざします。
竪川	両国にもものづくりの発展をもたらす、暮らしを支えた水辺として、まち歩きや夕涼みを粋に愉しめる歩行者環境をめざします。

(3) 整備検討箇所



(4) 計画(案)について

事業展開01 賑わい軸

①両国のメインストリート、粋な江戸文化が薫る国技館通りの環境整備や街並みの修景

- ・まちのメインストリートにふさわしい環境整備や環境演出を図る。
- ・空間デザインや誘導情報などにより、まち歩きの拠点及び周辺の地域資源と連携した、面的な環境整備を図る。
- ・粋な江戸文化が感じられる街並みづくりによって、まち歩きの誘発を図る。

②下町の暮らしぶりともものづくりを伝える、馬車通りの歩行者環境づくり

- ・ファッションのまち両国の地域産業の賑わいと下町の暮らしぶりを愉しめるまち歩き環境を整える。

③江戸の賑わいを今に伝える、京葉道路・清澄通りの賑わいづくり

- ・道路の拡幅事業をきっかけに、沿道や街かどに賑わいある街並みづくりを推進する。

④歴史文化の奥行きとひろがりを出し、地域資源周辺の環境づくり

- ・両国公園や本所松坂町公園(吉良邸跡)など地域資源周辺の演出により、回遊性の向上を図る。
- ・相撲部屋、工房等の特徴を生かし、下町情緒と粋な江戸文化が感じられる街並みづくりを推進する。

事業展開02 まち歩きの拠点

⑤両国の発祥と鎮魂への想いを伝える、両国橋橋詰周辺の環境づくり

- ・休憩できる木陰の整備や、まちなかに点在する観どころを提供する情報案内を充実させ、まち歩きを誘発するしかけをつくる。

⑥まち歩きの情報と地域の歴史や文化を発信する、両国公園周辺の環境づくり

- ・公園に設置している地域の歴史や文化を伝える石碑の周辺を演出し、公園の魅力向上と地域の回遊性向上を図る。
- ・周辺の賑わい軸等と連携し、暮らしと賑わいが感じられる交流空間として活用する。

事業展開03 水辺の賑わいゾーン

⑦下町情緒と橋に重なる想いを伝える、竪川周辺の水辺の環境づくり

- ・竪川の水辺で、夕涼みを愉しむなど、下町情緒が感じられるまち歩き環境を整える。

今後想定される事業

短期・中期・長期

国技館通りの道路環境整備 両国駅周辺の道路環境整備/修景整備	短期	中期	長期
街並みの修景や演出のルールづくり	短期	中期	長期
街並みの修景や演出のルールづくり	短期	中期	長期
地域資源周辺の環境整備	短期	中期	長期
案内サインの整備	短期	中期	長期
歴史と文化が感じられる公園の環境整備 本所警察署跡地の活用検討	短期	中期	長期
竪川遊歩道化整備 橋詰め緑地の改修	短期	中期	長期

Cエリア関連整備事業

(1) Cエリアの地域展開におけるまちづくりの方針

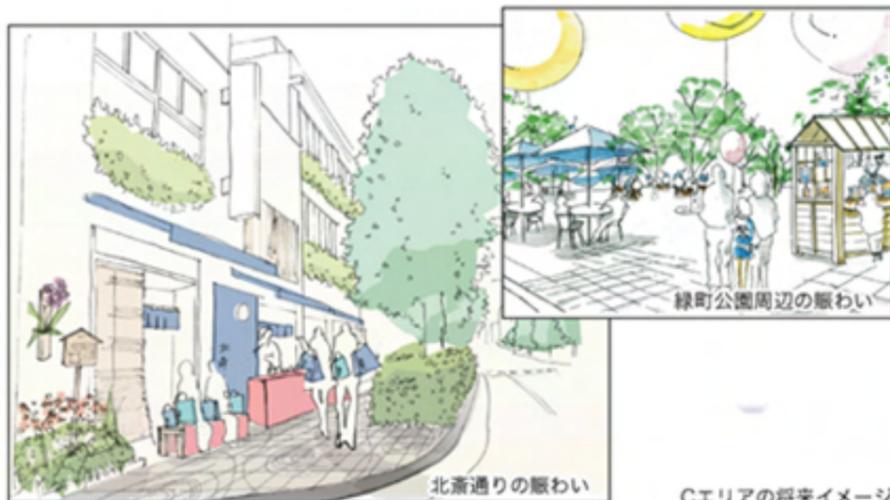
葛飾北斎の生誕地、暮らしと賑わいが両立した、北斎通りを中心としたまちづくり



Cエリア位置図

商店などで賑わう北斎通りを歩くと、かつての水辺の記憶や北斎の粋な文化が感じられ、また、まちなかに一步入ると、下町らしい暮らしぶりや、地域の方々に大切にされる寺社仏閣、相撲部屋の佇まいなどが感じられる、まち歩きを粋に楽しめるまちをめざします。

また、来訪者が、まち歩きと併せて地域イベントを愉しめるよう、来訪者を迎える地域ぐるみのおもてなし、まちの演出、まちの発信をしていきます。



北斎通りの賑わい

Cエリアの将来イメージ

(2) Cエリアの軸・拠点・ゾーンの方角性

賑わい軸

北斎通り まち歩きの中心軸となる両国と錦糸町を結ぶ主軸動線として、すみだ北斎美術館を含む緑町公園周辺（まち歩きの拠点）や沿道の商店とともに、暮らしと賑わいが感じられる歩行者環境をめざします。

清澄通り 両国地域の交通拠点と大規模集客施設付近を通る、両国地域の南北軸として、また、周辺のまち歩きの主軸動線として、沿道の街並み誘導を図ります。



まち歩きの拠点

地下鉄出入口周辺 粋に来訪者を迎えるおもてなしの玄関口や、まち歩きの起点となる環境をめざします。

緑町公園周辺 賑わいが感じられる交流空間、また、周辺へのまち歩きを誘発する情報発信拠点をめざします。



水辺の記憶ゾーン

北斎通り 旧南割下水跡として、水辺の記憶や歴史が感じられる通りをめざします。

清澄通り かつての御竹蔵（現在の江戸東京博物館付近）を取り囲むように流れていた旧堀割として、水辺の記憶が感じられる沿道の街並み修景を図ります。

大横川親水公園 水辺の記憶を感じながら両国地域を訪れる散策路として、また地域イベントなどによる賑わいあふれる交流空間として、さらなる親水公園の活用をめざします。

(3) 整備検討箇所



(4) 計画（案）について

事業展開01 賑わい軸

① すみだ北斎美術館へのアプローチ、北斎通りの環境整備や街並みの修景

- ・葛飾北斎の生誕地として、またすみだ北斎美術館へのアプローチとして、賑わいが感じられる環境整備や環境演出を図る。
- ・空間デザインや施設案内などにより、まち歩きの拠点及び周辺の地域資源と連携した、面的な環境整備を図る。
- ・地区計画の変更等により、北斎通り沿道に商店などを誘導し、賑わいある街並みを創出する。

② 区内観光拠点エリアとの連携を図るための環境整備や街並みの修景

- ・道路の緑化や沿道の修景などの演出により回遊性を高める。

事業展開02 まち歩きの拠点

③ すみだ北斎美術館と連携した、賑わいがあふれる緑町公園周辺の環境づくり

- ・公園周辺の道路環境整備などにより、まち歩きの拠点としての環境整備を図る。
- ・すみだ北斎美術館から周辺に点在する観どころなどを案内するサイン等を整備し、まち歩きを誘発する。

④ 来訪者を迎え、地域内外の回遊性を高める、地下鉄出入口周辺の環境づくり

- ・交通起点である地下鉄出入口周辺での、すみだ北斎美術館周辺に点在する観どころなどを案内するサイン等を整備する。

事業展開03 水辺の記憶ゾーン

⑤ 葛飾北斎が暮らした水辺の記憶を伝える、旧南割下水（北斎通り）の環境づくり

- ・旧南割下水（現北斎通り）と割下水に架けられていた橋梁の記憶を彷彿とさせるまち歩き環境をつくる。

⑥ 水辺に親しむ地域の賑わいを伝える、大横川親水公園の環境づくり

- ・大横川親水公園の親水性を活かした沿川の街並み修景を図る。

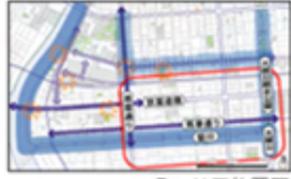
今後想定される事業

事業内容	短期	中期	長期
北斎通りの道路環境整備	■		
民間の建築物等の修景・開発誘導	■	■	
区役所通りの環境整備	■		
緑町公園周辺道路環境整備	■		
案内サインの整備	■		
北斎通りの道路環境整備/案内サインの整備	■		
沿川の街並み修景	■		

Dエリア関連整備事業

(1) Dエリアの地域展開におけるまちづくりの方針

歴史小説や時代劇の主人公が暮らしたまちで江戸と今をつなぐ



Dエリア位置図

かつて、鬼平（長谷川平蔵）や遠山の金さん（遠山金四郎）、堀部安兵衛などが暮らした由緒あるまちとして、来訪者が歴史小説や時代劇中の情景に思いを馳せ、歴史の舞台に飛び込めるようなまちをめざします。

まちのあちこちに彼らが刻んだ歴史・物語を思い浮かべながら、江戸の歴史を辿るまち歩きを愉しめるようなまちを発信していきます。



大横川沿いの賑わい

Dエリアの将来イメージ

(2) Dエリアの軸・拠点・ゾーンの方角性

賑わい軸

京葉道路	両国と錦糸町を結ぶ東西軸として、沿道の街並み誘導を図ります。
馬車通り	まち歩きの中心軸として、町工場や問屋と住宅の混在した街並みとともに、暮らしふりと生業が見える歩行者環境をめざします。
清澄通り	両国地域の交通拠点と大規模集客施設付近を通る、両国地域の南北軸として、また、周辺のまち歩きの主軸動線として、沿道の街並み誘導を図ります。

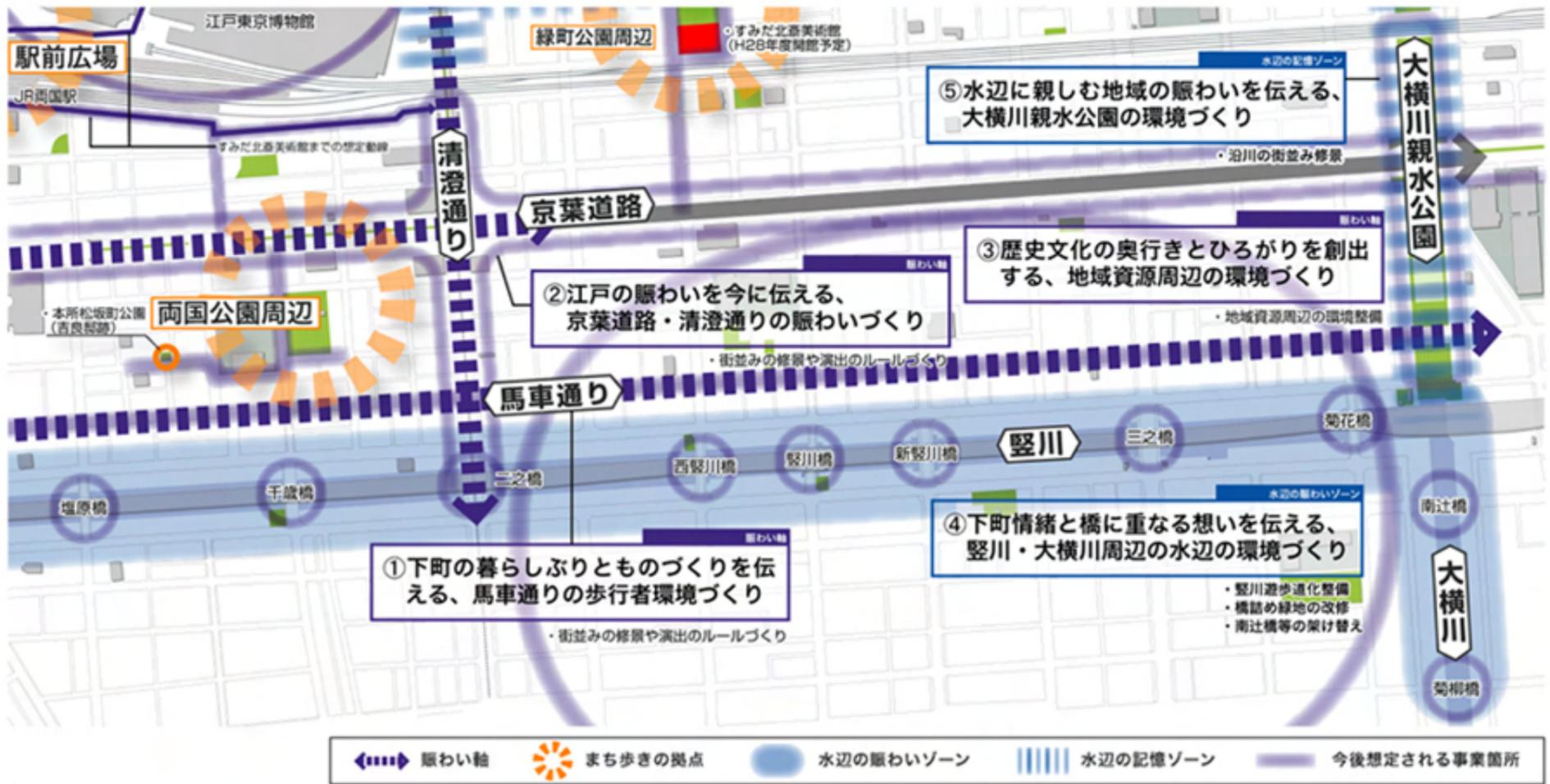
水辺の賑わいゾーン

竪川・大横川	両国のものづくりの発展をもたらす、暮らしを支えた水辺として、まち歩きや夕涼みを粋に愉しめる歩行者環境をめざします。
--------	---

水辺の記憶ゾーン

大横川親水公園	水辺の記憶を感じながら両国地域を訪れる散策路として、また地域イベントなどによる賑わいあふれる交流空間として、さらなる親水公園の活用をめざします。
---------	--

(3) 整備検討箇所



(4) 計画(案)について

事業展開01 賑わい軸

- ①下町の暮らしふりともものづくりを伝える、馬車通りの賑わいづくり
 - ・両国の地域産業などの賑わいと下町の暮らしふりを愉しめるまち歩き環境を整える。
- ②江戸の賑わいを今に伝える、京葉道路・清澄通りの賑わいづくり
 - ・道路の拡幅事業をきっかけに、沿道や街かどに賑わいある街並みづくりを推進する。
- ③歴史文化の奥行きとひろがり創出する、地域資源周辺の環境づくり
 - ・歴史小説などに度々描かれる地域資源周辺の修景により、回遊性の向上を図る。

事業展開03 水辺の賑わいゾーン・水辺の記憶ゾーン

- ④下町情緒と橋に重なる想いを伝える、竪川・大横川周辺の水辺の環境づくり
 - ・竪川や大横川の水辺で夕涼みを愉しむなど、下町情緒が感じられるまち歩き環境を整える。
- ⑤水辺に親しむ地域の賑わいを伝える、大横川親水公園の環境づくり
 - ・大横川親水公園の親水性を活かした沿川の街並み修景を図る。

今後想定される事業	短期	中期	長期
街並みの修景や演出のルールづくり	■	■	■
街並みの修景や演出のルールづくり	■	■	■
地域資源周辺の環境整備	■	■	■

竪川遊歩道整備	■	■	■
橋詰め緑地の改修	■	■	■
南辻橋等の架け替え	■	■	■
沿川の街並み修景	■	■	■